

第10回ウ・タント記念講演（報告）

日時：10月14日（金）

場所：国連大学ウ・タント国連会議場（UNハウス3階）

テーマ：「国連事務総長の役割 - 序曲としての過去、そして未来へ」

今回のアナン・パンヤラチュン元タイ首相による講演は、国連元事務総長のダグ・ハマースホルド氏の生誕100周年記念に合わせて行われました。

開会に当たり、日本学術会議からは浅島副会長がご挨拶された後、アナン・パンヤラチュン氏より、ダグ・ハマースホルド氏及びウ・タント氏の国連における業績、「脅威、挑戦及び変革のための国連ハイレベル委員会」のレポート、及び次期国連総長が直面するであろう諸課題について講演が行われました。

その後、国連改革：世界サミットの結果について、アナン・パンヤラチュン氏、ベルンハルト・ツェプター氏（駐日欧州委員会代表部大使）、ピーター・ウォーレンスティー教授（スウェーデン・ウプサラ大学、ハマースホルド国際機関教授）、ベアトリス・プーリニー氏（上級リサーチフェロー、パリ政治学院 国際問題研究所）、明石康氏（元国連事務次長）によるパネルディスカッションが行われ、会場からも多数の質問が寄せられるなど、盛況のうちに閉会しました。

【問い合わせ先】日本学術会議事務局企画課総括係
(Tel:03-3403-1250、p221@scj.go.jp)

平成17年度共同主催国際会議の開催（報告）

会議名称：「第56回国際宇宙会議福岡大会」

会 期：10月16日（日）～21日（金）

場 所：福岡国際会議場、マリンメッセ福岡、サンパレス福岡、
福岡国際センター（福岡市）

同会議は、日本学術会議と社団法人日本航空宇宙学会が共同で開催するもので、「人の創造力をかき立てる宇宙開発」をメインテーマに、50か国余りの国・地域から約1,800人が参加して、活発な研究発表や討論が行われました。

10月17日（月）の開会式では、日本学術会議の浅島 誠副会長が主

催者挨拶を行いました。

同会議の詳細については、以下のホームページを御覧ください。

(<http://www.iac2005.org/>)

「市民との対話」講座

講座名称：「宇宙飛行士 若田光一氏による講演会」

期 日：10月16日(日)

場 所：福岡国際会議場(福岡市)

本教室は、平成17年度共同主催国際会議「第56回国際宇宙会議福岡大会」の市民向け講座として開催され、福岡市内など会場近隣から、小・中学生を中心とする児童・生徒及びその保護者約800名が参加しました。

若田氏は「宇宙生活と仕事」をテーマに、スペースシャトル打ち上げ時の様子や、宇宙での生活、今後の世界の宇宙開発計画などについて講演を行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、若田氏への質問コーナーでは活発な質疑応答が行われるなど、現役の宇宙飛行士との交流を通じて、子ども達の宇宙への夢と憧れを育む絶好の機会となりました。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局参事官室(国際業務担当)国際会議担当

(Tel:03-3403-1949、i254@scj.go.jp)

平成20年度(2008年度)共同主催国際会議の募集(お知らせ)

日本学術会議では、毎年、国内における重要な国際会議について、国内学術研究団体と共同して開催しております。昭和28年度以降、これまでに開催された会議は延べ225件を数えます。(毎年6~8件程度開催)

学術会議内での審査を経て、共同主催が決定した国際会議には、会議場借料、レセプション経費等を、予算の範囲内で国費にて負担いたします。

ただ今、平成20年度に開催される国際会議について、申請を受け付けておりますので、申請を希望される方は、下記担当までお問い合わせください。

申請締め切りは、平成17年11月30日(水)です。

共同主催国際会議の詳細については、以下のホームページを御覧ください。

(<http://www.scj.go.jp/ja/info/kyodo/>)

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局参事官室(国際業務担当)国際会議担当

(Tel:03-3403-1949、i254@scj.go.jp)

IAP 理事会（報告）

会議名称：「IAP 理事会」

会 期：10月16日（日）～17日（月）

場 所：中国科学院 "Shanghai Institute for Advanced Studies (SIAS)"
（上海）

10月16日から17日の2日間にわたって、上海の"Shanghai Institute for Advanced Studies (SIAS)" で国際問題に関するインターアカデミーパネル(IAP)の理事会(Executive Committee)が開かれ、日本学術会議からは、黒川会長、安部連携会員（前会員）が参加、星連携会員（前会員）がオブザーバー参加しました。

理事会では、IAPが進めている「アカデミーの能力開発」などのプログラム、「バイオセキュリティ」などのイニシアティブ、進化論を教えることに関する声明などについて率直な意見の交換が行われました。また、IAPとして初めての戦略計画について討議するとともに、次期総会の場所をエジプトの2都市とする案が示されました。

IAPについては、以下のホームページを御覧ください。

(<http://www4.nationalacademies.org/iap/iaphome.nsf>)

第28回 ICSU 総会（報告）

会議名称：「第28回 ICSU 総会」

会 期：10月16日（日）～22日（土）

場 所：物質大廈（上海）及び会議中心大酒店（蘇州）

3年に一度開かれる ICSU の総会は、今回は中国の2都市で、約100カ国の学術会議（準会員及びオブザーバー含む）や27の国際学術団体から200人以上の参加を得て開催されました。日本学術会議からは、黒川清会長を始めとする7名の会員、連携会員が参加しました。総会では、理事選挙を行い、次期会長に決定している Mehta 博士（インド）の次の会長にフランスの Catherine Brechignac 博士を選出するとともに、副会長以下の役員、一般理事も改選されました。また、学術と持続可能な開発、学術の普遍性、能力開発など国際的な学術をめぐる課題について討論が行われ、2006年から2011年までの活動の指針となる戦略計画(Strategic Plan)を採択しました。

ICSUについては、以下のホームページを御覧ください。

(<http://www.icsu.org/index.php>)

ベトナム代表団来訪

10月24日、ベトナムから我が国の科学技術を視察するために来訪した代表団が日本学術会議会長を表敬訪問しました。

当該代表団は、ベトナムの首相直轄の組織である国家科学技術政策会議（NCSTP）が中心となり、我が国の科学技術の発展（特にハイテクノロジーや科学技術を社会に還元するシステム等）及び科学技術政策の立案過程について視察し、日越間での情報共有を図ることを目的とするものです。

表敬の際には、代表団の団長であるチュー・トアン・ナー議長（元科学技術大臣）をはじめ、ベトナムを代表する科学者9名と日本学術会議の組織と活動、科学技術政策における科学者の役割などについて活発な議論や意見交換を行いました。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局参事官室（国際業務担当）国際調査担当
(Tel:03-3403-5731、i266@scj.go.jp)

全国知的・産業クラスターフォーラム

～ 知の創造からビジネス創造に向けて～（案内）

産学官の連携でイノベーションを創出し、新産業を育成するクラスター政策、地域でのクラスター形成、発展による新技術、新事業、新産業の創出へ向け、企業、大学、地方自治体や産業支援機関等が一堂に会するフォーラムです。

国のプロジェクトの方向性や地域における取組状況、実際のクラスター形成活動の成功・失敗事例等について情報を共有し、クラスターの発展について討論します。

日本学術会議からは、石倉洋子副会長が午後のパネルディスカッションのコーディネーターとして参加されます。

日 時：11月30日（水）10：00～17：00（開場9:30）

会 場：東京ビッグサイト 会議棟1F レセプションホールB

主 催：文部科学省・経済産業省・日本経済新聞社

定 員：600名（入場無料）・・申し込み多数の場合は抽選となります

募集締切：11月20日（日）必着

- ・募集締め切り後、11月22日（火）迄に「参加確認証」をご登録いただいたメールアドレスにお送り致します。

お申込み・詳細：お申込は、ホームページよりご登録下さい。

URL <http://www.cluster.gr.jp/forum.html>

【問い合わせ先】「全国知的・産業クラスターフォーラム」事務局
(財)日本立地センター内
(tel 03-3518-8964、forum@jilc.or.jp)

日本学術会議ニュースメールは、転載自由です。貴団体の学術誌等への転載や貴団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

なお、御意見等がありましたら、各問い合わせ先まで、お寄せください。

また、メールアドレスの変更等がありましたら、p228@scj.go.jp まで御一報いただければ幸いです。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34